

1. 学会関連情報

○令和2年度放射線影響研究功績賞及び同奨励賞受賞候補者の推薦に関するご案内(選考受付期限:2020年11月20日(金))

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=21>

○IRPA-15の開催情報が更新されました。早期登録や会費について情報が更新されております。

詳細は大会HPにてご確認ください。<https://www.irpa2020.org>

○放射線防護アンブレラ主催第2回実効線量と実用量に関するWebinar(全5回シリーズ)のご案内

<講演内容>Webinar 第2回「放射線リスクと実効線量」

日時:11月24日(火) 16時から17時半

講師:佐々木道也先生(電力中央研究所)

詳細は<http://www.umbrella-rp.jp/ref.php>をご覧ください。

2. 関連する研究情報

論文紹介

○ Nature Reviews Earth & Environment (2020). Published: 27 October 2020.

福島陸域環境モニタリングに関するレビュー。森林では多くのCs-137が留まっているものの、森林以外の領域ではCs-137濃度が急速に低下している。

Radionuclides from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant in terrestrial systems

Onda et al.

<https://doi.org/10.1038/s43017-020-0099-x>

○ Journal of Environmental Radioactivity 225 (2020) 106422

Cs-137の森林土中鉛直分布モニタリングに関するレビュー。有機土壌から鉱物土壌への移行速度は、チェルノブイリでの観測事例よりも速いことが示された。

Vertical distributions of radiocesium in Japanese forest soils following the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: A meta-analysis

Imamura et al.

<https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2020.106422>

○ *Environ Int.* 146: 106235, 2021. doi: 10.1016/j.envint.2020.106235.

放射線被ばくによって生じる循環器疾患と代謝疾患について、最近の科学的知見と欧州 MELODI の 2019 年ワークショップでの議論の内容をまとめた総説。

Ionizing radiation-induced circulatory and metabolic diseases.

Tapio et al.

<https://doi.org/10.1016/j.envint.2020.106235>

○ *Thyroid* 2020, Nov 4. Online ahead of print

ウクライナのチェルノブイリ後および散発性の甲状腺乳頭癌(PTC)、福島県および日本の他県の同程度の年齢層の患者の PTC を対象に、腫瘍の構造および浸潤性の病理組織学的解析を行った。ウクライナの放射線関連群と散発性群の間で PTC の生物学的動態を示す形態学的特徴が異なることと、日本の 2 つの群にはそのような特徴がないことから、福島県および他県の PTC の非放射線性病因を強く示唆した。

Papillary thyroid carcinoma in Ukraine after Chernobyl and in Japan after

Fukushima: different histopathological scenarios

Bogdanova, TI et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33143557/>

○ *Int J Soc Psychiatry* 2020 Nov.4 , Online ahead of print

福島県の地域住民を対象に、事故後 3 年後の抑うつ症状に国への不信感がどのように影響しているかを、関東圏(東京近郊)の住民を対照群として、福島県住民 1000 人と関東圏の住民 1650 人の無作為抽出によって質問調査を実施した。有効回答者は 976 人(36.8%)であった。政府への不信感は抑うつ症状と関連しており、その関連性は関東よりも福島県の方が強かった。

Distrust in government and its relationship with mental health after the Fukushima nuclear power plant accident

Fukasawa, M. et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33148102/>

3. ニュースや社会の動き

○ ICRP Publication 144 "Evaluation of Effective Dose for Exposures in The Environment"を公開 (10月28日)

<http://www.icrp.org/publication.asp?id=ICRP%20Publication%20144>

JAEA の斎藤公明氏が Guest Editorial を執筆されています。

<https://journals.sagepub.com/doi/10.1177/0146645320916969>

○IAEA TECDOC No. 1927 "Environmental Transfer of Radionuclides in Japan following the Accident at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant"を公開
<https://www.iaea.org/publications/14751/environmental-transfer-of-radionuclides-in-japan-following-the-accident-at-the-fukushima-daiichi-nuclear-power-plant>

○内閣府 新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた感染症流行下での原子力災害時における防護措置の実施ガイドラインについて(11月2日)
https://www8.cao.go.jp/genshiryoku_bousai/pdf/08_sonota_guidelines.pdf

○本学会会員でもある荻野晴之氏が ICRP the 2021 Bo Lindell Medal for the Promotion of Radiological Protection を受賞されました。(11月9日)
<https://mailchi.mp/icrp/2021-bo-lindell-medal-winner-announced?e=5ef7d42376>

4. これからのイベント

○日本原子力研究開発機構「深地層の研究施設計画に関する報告会 2020」オンライン、12月1日
https://www.jaea.go.jp/04/tisou/houkokukai/houkokukai_r02.html

○原子力技術研究に関する日インドネシア共同シンポジウム、11月11～12日(オンライン形式)
https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20201104_sym.html

○原子力安全技術センター 令和2年度放射線安全管理講習会 東京会場、オンライン配信、12月21日
<https://www.nustec.or.jp/project/ankan.html>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○公益財団法人高輝度光科学研究センター(JASRI)定年制研究員、12月10日 必着
https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D120102023&ln_jor=0

○日本原子力研究開発機構 定年制研究員 廃炉環境国際共同研究センター 遠隔技術 Div 遠隔分析技術開発 Gr、11月18日 必着
https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D120101107&ln_jor=0

○原子力規制委員会研究職員(経験者採用)(1)シビアアクシデント研究部門 (2)地震・津波研究部門、12月11日(金) 同日消印有効

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/kenkyu_keiken.html

○日本原燃株式会社 経験者 採用随時募集中

<https://www.jnfl.co.jp/recruit/mid-career/>

○国立研究開発法人情報通信研究機構 有期雇用研究員 11月25日必着

<https://www.nict.go.jp/employment/202104.html>

既発行の Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletter にて会員に有益な最新論文やイベント情報等の発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同コミュニケーション委員会 Newsletter 作成グループ

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

— —